BMLオーサリングツール「Foliage」最新版が、発売1年で出荷200本を超える

株式会社メディアキャスト(本社: 東京都渋谷区、代表取締役
杉本孝浩)は、昨年2月に発表したデジタルデータ放送用BMLオーサリングツールである「Foliage(フォーリッジ)」の最新版「Foliage
Version3シリーズ」の出荷本数が、発売後約1年間で200本(※)を超えたことを発表しました。
※アップグレードを含みます

国内の放送のデジタル化は、昨年7月に地上デジタル放送に完全移行に続き、同10月にはBSデジタルチャンネル拡充されました。そして、今年4月には、BSデジタルの更なるチャンネル拡充が予定されており、各放送局やケーブル事業者も含め、デジタル放送技術を駆使した番組の企画・制作環境の整備が必須となってきています。
その中で、Foliage
Version3シリーズは、高度な技術を必要とせず直観的なマウス操作により、インターネットのホームページ
(HTMLコンテンツ)と同等の容易さでデータ放送コンテンツの制作を可能にする国内唯一の汎用BMLオーサリングツールであり、NHKや地上波民放各局、BSデジタル各局、ケーブル事業者、コンテンツ制作会社などに受け入れられ、短期間での大量出荷につながりました。

地上デジタル放送が本格化したことで、新たな放送サービスが模索される中、今後の放送コンテンツの方向性の1つとして注目されるのは、スマートフォンをはじめとするモバイル通信機器との連携や、Twitterをはじめとする SNS(ソーシャルネットワークサービス)との連動など、クロスメディア化への展開です。そして、放送サービスと通信サービスとのゲートウェイとなるのがデータ放送であり、データ放送の充実がクロスメディア化への軸足であることから、メディアキャストでは、「Foliage
Version3シリーズ」の販売をさらに強化し、データ放送コンテンツ制作フローのさらなる効率化と、創造性の高いデータ放送コンテンツの制作と、データ放送普及に寄与していきます。

Foliage Version3シリーズには、固定受信機用「Foliage typeA
Version3」と、ワンセグデータ放送用「Foliage typeC
Version3」の2種類があり、制作・編集に便利な各種新機能を追加搭載し、操作性を大幅に改善させています。また、「Foliage typeA
Version3」はBSデジタル放送やCS110放送に対応しています。
価格は、いずれも新規購入で59万8千円(1ライセンス/税別)、旧バージョンからのアップグレードは24万8千円(1ライセンス/税別)です。

■「Foliageシリーズ」について

「Foliage」シリーズは、ARIBが策定した地上デジタルデータ放送規格(ARIB STD B24、ARIB TR-B14 A-Profile/C-
Profile)に準拠した国内唯一の汎用BMLオーサリングツールで、高度な技術を必要とせず直観的なマウス操作により、インターネットのホームページ
(HTMLコンテンツ)制作と同等の容易さでデータ放送コンテンツの制作を可能にします。ECMAscript編集支援機能やデバッグ機能、画面プレビュー機能などを備えており、BML初心者から上級者ま

で幅広いユーザーのニーズに応え、制作コスト削減と共にシームレスで効率的な制作環境が実現します。

…[用語説明]……
※ BML
(ビーエムエル:Broadcast Markup Language)
ARIBが策定した放送規定に準拠したXMLベースのデータ放送向けページ記述言語
※ ARIB
(アライブ:Association of Radio Industries and Business) 社団法人電波産業会
http://www.arib.or.jp
※ ECMAscript (エクマ スクリプト)
JavaScriptの標準規格。Netscape
Communications社とMicrosoft社でJavaScriptの仕様が微妙に異なっていたため、両社が参加の上、ECMA (European Computer Manufacturer Association /
エクマ：ヨーロッパ電子計算機工業会)が標準化したもの。
……

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com